

## 日本財団わがまち基金(熊本県・住宅再建支援(第1期))事業報告書(抜粋)

### I はじめに

#### 1 本報告書について

本報告書は、熊本地震の復興支援に関する金融支援制度の実施(第1期)(熊本県・住宅再建支援)(事業ID:2016382132)(以下「わがまち基金第1期事業」という。)の成果物として提出する報告書である。

#### 2 わがまち基金第1期事業について

##### (1) 事業期間

2016年8月1日 ～ 2021年9月30日

##### (2) 事業の構成

わがまち基金第1期事業は、被災住宅再建支援金助成事業(住宅支援金)、みんなの家整備事業(建設支援金)、住環境整備支援事業(住環境)の3つの事業により構成され、各々次表のとおり実施した。

事業名	予算(円)	執行額(円)	実施期間
被災住宅再建支援金助成事業	196,000,000	195,558,040	H28年度～H30年度
みんなの家整備事業	243,000,000	256,143,999	H28年度～R3年度
住環境整備支援事業	45,000,000	30,000,000	H28年度～H30年度
事務費等	4,000,000	6,433,390	H28年度～R3年度
合計	488,000,000	488,135,429	

表1 事業の構成

##### (3) 事業の成果

各事業の目標と実績は、次表のとおり。

事業名	目標	実績
被災住宅再建支援金助成事業	住宅再建のための支援戸数：約200戸	住宅再建のための支援戸数：228戸
みんなの家整備事業	整備団地数：約40団地	整備対象40団地のうち「みんなの家」を希望する団地に11棟整備。加えて、公民館型「みんなの家」を6棟整備。その他、「みんなの東屋」1棟整備。
住環境整備支援事業	仮設住宅の住環境整備団地数：約90団地	仮設住宅等の住環境整備件数：3年間で延べ158件の環境改善活動の他、90団地でアンケート調査等を実施

表2 事業の目標と成果

#### (4) 事業費

##### ① 被災住宅再建支援金助成事業 (195,558,040 円)

被災住宅再建支援金助成事業(住宅支援金)については、H28 年度に約 69 百万円、H29 年度に約 97 百万円、H30 年度に約 29 百万円、合計約 196 百万円を支出した。

##### ② みんなの家整備事業 (256,143,999 円)

みんなの家整備事業(建設支援金)については、H28 年度に百万円(みんなの東屋購入費用)、H29 年度に約 108 百万円、H30 年度に約 11 百万円、R 元年度に約 92 百万円、R2 年度に約 43 百万円、R3 年度に約百万円、合計約 256 百万円を支出した。

##### ③ 住環境整備支援事業 (30,000,000 円)

住環境整備支援事業(住環境)については、H28 年度に 13.5 百万円、H29 年度に 12.5 百万円、H30 年度に 4 百万円、合計 30 百万円を KASEI への補助金として支出した。

#### (5) 事務費 (6,433,390 円)

事務費については、H28 年度から R3 年度までの間に合計約 6 百万円を支出した。なお、R 元年度以降の事務費は、建設支援金事業(みんなの家整備事業)の実施に伴う事務費である。

(中略)

## II 被災住宅再建支援金助成事業

### 1 事業概要

本事業は、被災住宅再建支援助成金事業として、平成 28 年度から平成 30 年度まで 3 事業期にわたり 1,200 戸(第 1 期:200 戸、第 2 期:700 戸、第 3 期:300 戸)の助成を計画したうちの、第 1 期に該当する事業である。

(中略)

### 2 平成 28 年度(第 1 期)事業について

本事業(第 1 期事業)の大半は、平成 28 年度に実施した第 1 次募集に関する費用であるが、その他に平成 29 年度の第 2 次募集についても費用を支出している。(表 6、表 7 参照。)

#### ① 第 1 次募集(平成 28 年度募集) (第 1 期事業支出金額:166,267,628 円)

- ・ 募集期間 平成 28 年 10 月 3 日～平成 28 年 11 月 30 日
- ・ 助成戸数 198 戸 (H28 年度:86 戸、H29 年度:112 戸)
- ・ 助成完了 平成 30 年 2 月 15 日(受付最終日から 442 日後)
- ・ 第 1 期事業により支出した費用の内訳

198 戸(H28 年度:86 戸、H29 年度:112 戸)の助成金及び 66 戸(H28 年度分)の振込手数料として支出。

② 第2次募集(平成29年度募集)(第1期事業支出金額:29,290,412円)

- ・募集期間 平成29年5月10日～平成29年11月30日(3回に分けて募集)
- ・助成戸数 728戸(H29年度:488戸、H30年度:237戸、H31年度:3戸)
- ・助成完了 令和元年8月9日(受付最終日から617日後)
- ・第1期事業により支出した費用の内訳  
30戸(H30年度237戸の一部)の助成金及び振込手数料として支出。

③ 第3次募集(平成30年度募集)(第1期事業支出金額:0円)

- ・募集期間 平成30年4月9日～平成31年3月29日(5回に分けて募集)
- ・助成戸数 403戸(H30年度:328戸、H31年度:75戸)
- ・助成完了 令和元年10月10日(受付最終日から195日後)
- ・第1期事業により支出した費用はない。

募集年度	事業年度 会計年度	合計		H28年度(第1期)事業			H29年度(第2期)事業			H30年度(第3期)事業		
		件数	金額	件数	助成金	手数料	件数	助成金	手数料	件数	助成金	手数料
H28年度事業 ①第1次募集	平成28年度会計	86	68,947,628	86	68,900,000	47,628						
	平成29年度会計	112	97,399,056	112	97,320,000	0	0	0	79,056			
	計	198	166,346,684	198	166,220,000	47,628	0	0	79,056	0	0	0
H29年度事業 ②第2次募集	平成29年度会計	488	413,911,732				488	413,590,000	321,732			
	平成30年度会計	237	217,703,080	30	29,270,000	20,412	207	188,270,000	142,668			
	平成31年度会計	3	1,962,268				3	1,960,000	2,268			
計	728	633,577,080	30	29,270,000	20,412	698	603,820,000	466,668	0	0	0	
H30年度事業 ③第3次募集	平成30年度会計	328	300,434,748				93	83,080,000	62,100	235	217,130,000	162,648
	平成31年度会計	75	71,060,234				1	1,000,000	432	74	70,010,000	49,802
	計	403	371,494,982	0	0	0	94	84,080,000	62,532	309	287,140,000	212,450
合計		1,329	1,171,418,746	228	195,490,000	68,040	792	687,900,000	608,256	309	287,140,000	212,450
当初予算額		1,200	1,172,380,000	200		195,558,040	700		688,508,256	300		287,352,450
						196,000,000			688,380,000			288,000,000

表6 各事業期と各募集次の関係により整理した助成金等支出状況

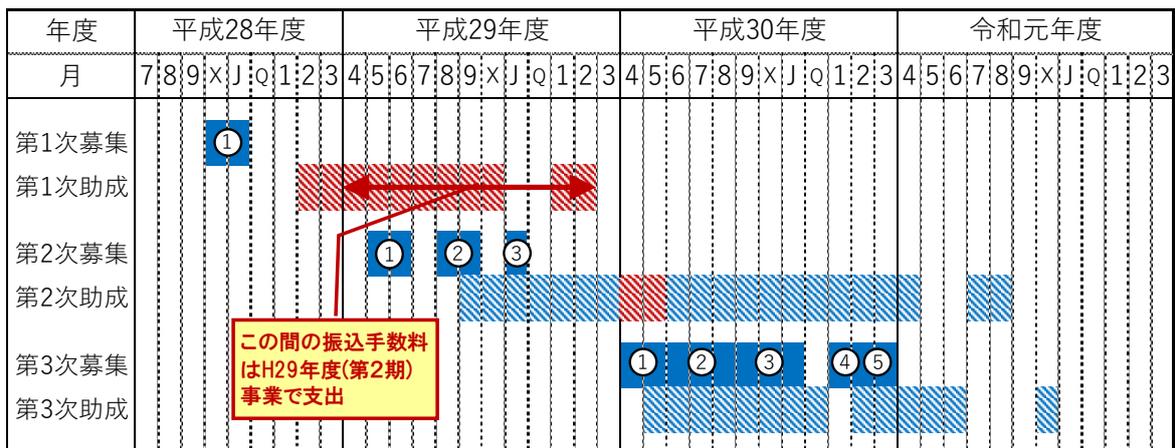


表7 H28年度(第1次)～H30年度(第3次)募集のうちH28年度(第1期)事業として支出した部分(茶色)

### Ⅲ みんなの家整備事業

#### 1 小規模仮設団地の「みんなの家」(プッシュ型「みんなの家」)の整備

平成 28 年熊本地震の応急仮設住宅整備において、20 戸以上の団地について集会所としての「みんなの家」が災害救助法の枠組みで整備されたが、20 戸未満の団地(合計 40 団地)には集会所が設けられなかった。本事業では、それらの団地に「みんなの家」を整備するために、県を通じて各団地の意向を確認したところ 11 団地について「みんなの家」整備の要望があり、応急仮設団地において「みんなの家」整備の実績が最も豊富な(一社)KKN の会員工務店と買取契約を結ぶこととした。

設計者については、くまもとアートポリスにより 5 者が選定され、(一社)KKN との協働により整備を進め、平成 30 年 4 月までに各市町村への寄贈が完了した。

11 棟の購入費等の合計は、119 百万円(平成 29 年度 108 百万円、平成 30 年度 11 百万円)であった。なお、プッシュ型「みんなの家」の完成写真等については、熊本県がアートポリス事業で作成したパンフレット「熊本みんなの家(プッシュ型)」(別添)参照。

団地名	面積	設計者 売主(施工者)	購入費等合計	寄贈先	寄贈日
城南町さんさん 2 丁目仮設団地	29.81㎡	矢作昌生+井手健一郎	10,246,625円	熊本市	H29.7.21
内牧仮設団地	38.33㎡	(株) エバーフィールド	9,525,000円	阿蘇市	H29.11.28
くすのき平仮設団地	19.87㎡	横山俊祐+宮本佳明+前田茂樹 (株) 五瀬建築工房	10,349,400円	美里町	H29.9.5
御領仮設団地	29.81㎡	鷹野敦+根本修平	26,611,780円	宇城市	H29.9.25
曲野長谷川仮設団地	66.25㎡	黒田建築			
玉虫仮設団地	39.75㎡	横山俊祐+宮本佳明+前田茂樹	20,463,440円	御船町	H29.12.5
甘木仮設団地	39.75㎡	(有) ウエダホーム			
境目第 3 仮設団地	34.53㎡	内田文雄+西山英夫	9,646,000円	宇土市	H30.1.19
境目第 2 仮設団地	36.44㎡	(株) エバーフィールド	11,159,080円	宇土市	H30.2.21
(南阿蘇村) 室第 2 仮設団地	28.56㎡	四ヶ所高志+田上健一+徳田光弘 朋和(株)	9,928,274円	南阿蘇村	H30.3.20
H29年度合計			107,929,599円		
新松原仮設団地	33.54㎡	四ヶ所高志+田上健一+徳田光弘 (株) ロジック	11,319,000円	宇土市	H30.4.13
H30年度合計			11,319,000円		

表8 小規模仮設団地の「みんなの家」(プッシュ型「みんなの家」)

#### 2 公民館型「みんなの家」の整備

プッシュ型「みんなの家」のニーズが当初の予想より少なかったこともあり、県の提案により、被災公民館の再建も本事業として取り組むこととなり、熊本地震の復興支援に関する金融支援制度の実施(第 3 期)(熊本県・住宅再建支援)(事業 I D : 2017455194)(以下

「わがまち基金第3期事業」という。)と併せて10棟を公民館型「みんなの家」として(一社)KKNと買取契約を結んで整備していった。

公民館型「みんなの家」については、当初、わがまち基金第1期事業で5棟、第3期事業で5棟の予定であったが、最終的には第1期事業で6棟、第3期事業で4棟整備することとなり、第1期事業分については、追加支援工事を含めて令和3年9月までに整備を完了した。(表9参照)

公民館型「みんなの家」も、設計については、「くまもとアートポリス」により選定された建築家が行った。

6棟の購入費等の合計は、134百万円(令和元年度91百万円、令和2年度43百万円)であった。なお、各公民館型「みんなの家」の完成写真等については、熊本県がアートポリス事業で作成したパンフレット「熊本みんなの家(公民館型)」(別添)参照。

事業	みんなの家の種類	第1期事業 助成金申請時	第1期事業 開始時	第3期事業 助成金申請時	最終整備状況
第1期	プッシュ型 みんなの家	30棟程度 整備予定	既存集落含め 16棟程度予定	11棟	11棟
	公民館型 みんなの家	-		5棟	6棟
第3期	みんなの家	-	-	5棟	4棟
備考		H28.7.1 助成金申請書	H28.7.22 打合せメモ	H29.12.13 助成金申請書	R1.10.10 打合せ資料

表9 「みんなの家」整備の経緯

名称	面積	設計者	売主	購入費等合計	寄贈先	寄贈日
嘉島町北甘木のみんなの家	111.89㎡	千葉事務所	(一社)KKN	29,049,000円	嘉島町	R1.6.28
大津町新小屋のみんなの家	37.26㎡			14,292,000円	大津町	R1.11.20
嘉島町上六嘉のみんなの家	111.89㎡			29,586,000円	嘉島町	R1.11.29
甲佐町麻生原のみんなの家	59.60㎡	アトリエ・ワン		18,944,000円	甲佐町	R1.12.16
R1年度合計				43,341,000円		
大津町上揚のみんなの家	36.43㎡	アトリエ・ワン	(一社)KKN	14,292,000円	大津町	R3.3.25
南阿蘇村立野駅区のみんなの家	99.40㎡			28,518,000円	南阿蘇村	R2.4.24
R2年度合計				42,810,000円		

表10 公民館型「みんなの家」(第1期事業分)

### 3 「みんなの東屋」について

県との協議により、平成28年11月にテクノ仮設団地の住環境整備の一環として設置された「みんなの東屋」は、小規模仮設団地の「みんなの家」と同様に(一社)KKNの会員工務店から100万円で購入し、益城町に寄贈を行ったため、本報告書では「みんなの家」整備に係る支出と同じく建設支援金として整理している。(表3の平成28年度の欄の100万円が該当)

## IV 住環境整備支援事業

### 1 事業概要

県との協働により策定した「住環境整備支援事業補助金交付要項」（別添）に基づいて補助金を九州建築学生仮設住宅環境改善プロジェクト（KASEI プロジェクト）に交付することにより、KASEI が行う平成 28 年熊本地震の応急仮設住宅等の環境改善に関する継続的な活動を支援した。なお、KASEI の取組みは令和元年度以降も継続しているが、わがまち基金第 1 期事業の対象としたのは平成 28 年度から平成 30 年度までであり、その使途は、次表のとおりである。

補助金支出先	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務局	3,000,000	3,766,053	1,723,809
①甲佐町【末廣・下田】(九大・熊本高専)	600,000	261,625	516,343
②益城町【佐藤・藤原】(県立大・有明高専)	3,300,000	2,323,972	177,754
③西原村【菊池・安武・平瀬】(九大・長大・佐賀大)	2,100,000	620,831	268,366
④宇城市、美里町、宇土市、西原村【鷹野】(鹿大)	600,000	101,299	113,114
⑤益城町・嘉島町【西郷、益田】(崇城大、近畿大)	600,000	372,794	40,402
⑥大津町、南阿蘇村【田上、朝廣、四力所、徳田】(九大・福大)	1,800,000	602,539	281,120
⑦益城町【内田】(山口大)	1,200,000	800,946	448,210
⑧益城町【佐久間】(九工大)		600,000	19,212
⑨御船町【田中】(熊大)	300,000	49,941	
⑩宇土市【内田】		600,000	
⑪美里町、御船町【前田、宮本】		900,000	
⑫熊本市、阿蘇市【矢作】		300,000	66,000
⑬宇城市【鷹野】		600,000	5,790
⑭宇土市、大津町【田上、四力所】		600,000	339,880
合計	13,500,000	12,500,000	4,000,000

### 2 各年度の補助金及び活動状況

#### (1) 平成 28 年度（補助金：13,500 千円）

2020 東京五輪・パラリンピックのエンブレムを手掛けた野老朝雄氏デザインの「ヒトビット」を用いて、KASEI が活動する団地のロゴマークを学生が作成した他、31 団地で 74 件の環境改善活動を実施。詳細は、別添の「KASEI プロジェクト年次報告 2016」（B5 判 56 頁）参照。

#### (2) 平成 29 年度（補助金：12,500 千円）

小規模仮設団地の「みんなの家」のワークショップ等 45 件の環境改善活動の他に、今後の仮設住宅の計画や運営に役立てるための調査等を実施。詳細は、別添の「KASEI プロジェクト年次報告 2017」（B5 判 56 頁）参照。

#### (3) 平成 30 年度（補助金：4,000 千円）

公民館型「みんなの家」のワークショップ等 39 件の環境改善活動の他に、3 年間の活動をまとめた資料作成等を実施。詳細は、別添の「KASEI プロジェクト年次報告 2018」（B5 判 78 頁）参照。

(以下略)